

- 問1 律令制における税の仕組みについて、都での労役の代わりとして布を納める「庸」の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--|------------------------------------|--|
| 1. 口分田の面積に応じて、収穫した稲の約3%を地方の倉庫へ納める負担。 | 2. 都での労役の代わりに布を納め、主に都での役人の食糧や経費に充てられた負担。 | 3. 各地の絹や布、糸、海産物などの特産物を都まで運んで納める負担。 | 4. 国司の命令により、地方での土木工事などのために年間60日以内働く負担。 |
|--------------------------------------|--|------------------------------------|--|
- 問2 律令制度の下で実施された班田収授法では、6歳以上の男女に口分田が与えられました。この口分田の面積に応じて課され、収穫高の約3%にあたる稲を地方の諸国にある倉庫に納めた税を何と呼びますか。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|------|-------|------|------|
| 1. 庸 | 2. 雑徭 | 3. 調 | 4. 租 |
|------|-------|------|------|
- 問3 律令国家の税制において、戸籍に登録された人々に対する土地の配布と税の負担に関する説明として、当時の制度の仕組みを正しく述べているものはどれですか。 (2023年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 戸籍に登録された者のうち、6歳以上の男女であれば身分に応じた広さの土地が与えられ、収穫に応じた税を納めた | 2. 土地の不足を防ぐため、口分田は成人した男性のみに与えられ、その代表として戸主が税を負担した | 3. 6歳以上の男女に土地が与えられたが、実際に税として稲を納める義務があったのは戸主のみであった | 4. 戸籍に記載された家族のうち、労働力となる男性のみに土地が与えられ、布や特産物を納める義務が生じた |
|---|--|---|---|
- 問4 東大寺の正倉院には、青く透き通ったガラス製の坏（容器）など、当時の日本にはなかった高度な技術による宝物が多数収められています。これらの宝物が日本に伝わった経路や背景について述べた文として、適切なものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 南蛮貿易により、ヨーロッパの宣教師がキリスト教の布教とともに献上した。 | 2. 琉球王国の中継貿易により、東南アジア諸国の特産品が九州を経て近畿地方へ運ばれた。 | 3. シルクロードを経由して西アジアなどから唐へ伝わった文化が、遣唐使によって日本へもたらされた。 | 4. 鎌倉時代の日宋貿易を通じて、中国から最新の製紙技術とともに輸入された。 |
|--|---|---|--|
- 問5 律令時代の税制において、班田収授法に基づいて人々に割り当てられた口分田に対し、収穫した稲の約3%を納めることと定められていた税の名称を答えなさい。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|------|------|------|
| 1. 雑徭 | 2. 調 | 3. 庸 | 4. 租 |
|-------|------|------|------|
- 問6 大化の改新後の律令国家において、6年ごとに作成される戸籍に基づき、6歳以上の人々に口分田（くぶんでん）を与え、死ぬと国に返還させる土地制度を何といいますか。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|------------|
| 1. 班田収授法 | 2. 太閤検地 | 3. 地租改正 | 4. 墾田永年私財法 |
|----------|---------|---------|------------|
- 問7 聖武天皇が発した「大仏造立の詔」には、「富のある者も、労働力を提供する者も、一枝の草や一握りの土を持ち寄るような気持ちで協力してほしい」という意図が記されています。この事業を円滑に進めるため、聖武天皇が民衆の協力を得るために協力させた人物と、その背景の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 摂政であった聖徳太子に命じて、十七条の憲法によって役人の規律を正させた | 2. 唐から招いた鑑真に命じて、仏教の厳しい戒律を民衆に守らせることで労働を強いた | 3. 民衆から絶大な支持を受けていた僧の行基を起用し、資金や人手を集めさせた | 4. 有力貴族の藤原氏を動員し、荘園の農民を強制的に都へ連行して工事を行わせた |
|--|---|--|---|
- 問8 律令制において、戸籍に基づいて人々に土地を貸し与え、死ぬと国に返還させるという仕組みを何といいますか。 (2025年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------|-----------|-----------|
| 1. 公地公民の制 | 2. 租・庸・調の制 | 3. 三世一身の法 | 4. 班田収授の法 |
|-----------|------------|-----------|-----------|
- 問9 奈良時代において、仏教の力で国家の安定を図る「鎮護国家」の思想に基づき、全国に国分寺・国分尼寺を建立することを命じた人物は誰ですか。また、その人物の遺品が納められ、国際色豊かな天平文化を今に伝える、奈良市に位置する正倉院との関わりが深い人物を次の中から選びなさい。 (2022年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 桓武天皇 | 2. 後三条天皇 | 3. 推古天皇 | 4. 聖武天皇 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問10 古代日本の租税制度のうち、班田収授法との関わりが最も深い「租」の仕組みや特徴を説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 国司の命令により、土木工事などのために年間60日を限度として働く負担。 | 2. 都での労役の代わりに、麻布などを都まで運んで納める負担。 | 3. 口分田を与えられた民衆が、収穫した稲の一部を地方の国庫に納める負担。 | 4. 絹や布、糸といった各地の特産物を、都まで運んで納める負担。 |
|--|---------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|
- 問11 近江国府跡のように、古代の地方政治の中心地であった「国府」に関連して、律令制下の地方支配の仕組みについて説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 国府には中央から派遣された郡司が集まり、天皇から与えられた広大な土地を私有地として開墾した。 | 2. 国司は有力豪族の中から選ばれ、国府を拠点として軍勢力を蓄え、中央政府の支配に抵抗した。 | 3. 郡司は国府に常駐し、都から派遣された国司を補佐するために、数年ごとに交代で都へ赴き研修を受けた。 | 4. 国司は国府に居住し、国内の郡司を指導して、租・庸・調などの税の徴収や戸籍の作成を管理した。 |
|---|--|---|--|
- 問12 柿本人麻呂が現在の香川県坂出市にある沙弥島（しゃみじま）に立ち寄った際に詠んだ歌が収録されていることでも知られる、奈良時代の歌集「万葉集」の構成に関する記述として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|------------------------------------|--|--|
| 1. 鎌倉時代初期に後鳥羽上皇の命で編纂され、繊細で情熱的な歌風が特徴である。 | 2. 醍醐天皇の命によって編纂された、日本で最初の勅撰和歌集である。 | 3. 防人や農民といった幅広い階層の歌が収められ、素朴で力強い歌風が特徴である。 | 4. 漢字のへんやつくりの一部をとって作られた「カタカナ」を用いて、全ての歌が記されている。 |
|---|------------------------------------|--|--|
- 問13 奈良時代、聖武天皇の遺愛の品や東大寺の宝物を納めるために建てられた施設について述べたものとして、最も適切な名称を答えなさい。この施設は、三角形の木材を組み上げた「校倉造（あぜくらづくり）」という建築様式が採用されていることでも知られています。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 唐招提寺 | 2. 法隆寺 | 3. 平等院 | 4. 正倉院 |
|---------|--------|--------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 都での労役の代わりに布を納め、主に都での役人の食糧や経費に充てられた負担。	庸は、成人男子が都へ行って年間10日間働く代わりに、布（2丈6尺）を納める制度です。この庸や、特産物を納める「調」は、負担者が自力で都まで運ばなければならず、農民にとって非常に重い負担となりました。選択肢にある稲を納めるものは「租」、地方での労役は「雑徭」に該当します。
問2	答え 4 租	律令制における「租」は、土地（口分田）を対象に課された税です。班田収授法によって配分された口分田の面積に基づき、収穫した稲を納めました。納められた稲は、主に地方（国府など）の財源や飢饉に備えた備蓄として利用された点が、都へ運ばれた「調」や「庸」との大きな違いです。
問3	答え 1 戸籍に登録された者のうち、6歳以上の男女であれば身分に応じた広さの土地が与えられ、収穫に応じた税を納めた	班田収授法の特徴は、戸主などの代表者だけではなく、戸籍に登録された「6歳以上の男女」一人ひとりを対象に土地（口分田）を割り当てた点にあります。政府は戸籍を通じて民衆を個人単位で把握し、性別や身分に応じた面積の土地を与える代わりに、収穫物から「租」を徴収することで、国家の安定した財政収入を確保しようとしていました。
問4	答え 3 シルクロードを経由して西アジアなどから唐へ伝わった文化が、遣唐使によって日本へもたらされた。	正倉院の宝物には、ペルシャ（西アジア）風のデザインやガラス工芸品が含まれています。これらはシルクロードを通して唐に集まったものが、遣唐使などの往来によって日本まで伝えられたもので、当時の日本が国際的な交流網の東端に位置していたことを示しています。
問5	答え 4 租	班田収授法は、戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与え、本人が死亡すると国に返させる制度です。この口分田の面積に応じて課せられた税が「租」であり、収穫した稲を納める義務がありました。他の税制である「調」は各地の特産物、「庸」は都での労役の代わりにの布、「雑徭」は地方での労役を指します。
問6	答え 1 班田収授法	律令国家は「公地公民」の原則のもと、土地と民衆を直接支配しようとしていました。戸籍を作成して人々の所在を把握し、6歳以上の男女に一定の面積の田（口分田）を割り当て、収穫の約3%を「租（そ）」として納めさせるこの仕組みは、国家財政の基盤となりました。この制度は6年ごとの戸籍作成に合わせて実施されました。
問7	答え 3 民衆から絶大な支持を受けていた僧の行基を起用し、資金や人手を集めさせた	聖武天皇は大仏造立を国家の強制的な事業とするのではなく、広く民衆が自発的に参加する形を理想としました。そのため、当時は政府の許可なく布教を行い弾圧の対象であったものの、橋の建設やため池の築造などの社会事業を通じて民衆から深く慕われていた僧の行基を登用しました。行基は大仏造立の責任者（勸進）として、多くの人々から寄付や労働力を募る役割を果たしました。
問8	答え 4 班田収授の法	唐の均田制を参考にした土地制度です。政府は人々に口分田を与えて農業を行わせる代わりに、収穫した稲の一部を「租」として納めさせました。この循環によって、国家が土地と人民を直接支配することを目指しました。
問9	答え 4 聖武天皇	奈良時代の聖武天皇は、疫病や社会不安から国を守るために仏教を深く信仰し、東大寺に大仏を造立するとともに、全国各地に国分寺・国分尼寺を建てました。この時代に栄えた国際色豊かな文化を天平文化と呼び、聖武天皇の愛用品などが納められた正倉院の宝庫は、シルクロードを経由してもたらされた大陸の文物が現存していることで世界的に知られています。桓武天皇は平安京への遷都、推古天皇は飛鳥時代の政治、後三条天皇は摂関政治を抑えた親政で知られる人物です。
問10	答え 3 口分田を与えられた民衆が、収穫した稲の一部を地方の国庫に納める負担。	「租」は班田収授の制と密接に結びついており、政府から与えられた口分田という土地を課税対象としていました。これに対し、「調」は地方の特産物、「庸」は都での労役（歳役）の代わりにの布、「雑徭」は地方での労働を指し、これらは土地ではなく人（成人男性）を主な対象として課された税であるという違いがあります。
問11	答え 4 国司は国府に居住し、国内の郡司を指導して、租・庸・調などの税の徴収や戸籍の作成を管理した。	国府は、中央から派遣された国司が政務を行う拠点であり、現在の都道府県庁のような役割を果たしていました。国司の主な仕事は、班田収授法の実施に伴う戸籍の作成や、租・庸・調といった税の取り立てを監督することでした。これらの実務は、その土地に根を張る郡司（元・国造などの豪族）の協力を得て進められました。
問12	答え 3 防人や農民といった幅広い階層の歌が収められ、素朴で力強い歌風が特徴である。	万葉集は、特定の階級に限定されず、天皇から庶民まで多様な身分の歌が収められているのが最大の特徴です。柿本人麻呂のような宮廷歌人が活躍する一方で、辺境の警備に駆り出された「防人」の悲哀や家族への思いを詠んだ歌も収録されており、当時の社会状況を幅広く反映しています。また、表記には漢字の意味や音を借りた「万葉仮名」が使われています。
問13	答え 4 正倉院	聖武天皇の没後、光明皇后が天皇ゆかりの品々を東大寺に奉納したことが始まりとされています。湿気から宝物を守るために、三角形の木材を組み合わせた校倉造という技法が用いられました。中にはシルクロードを経由してペルシャなどから伝わった国際色豊かな宝物も多く含まれています。